

Autumn/Winter 2025

# BEAUTY CREATORS INSPIRE

VINTAGE INTELLIGENCE





Autumn/Winter 2025  
BEAUTY CREATORS INSPIRE  
VINTAGE INTELLIGENCE

2025年秋冬は、過去と未来を融合させ、新たな美の解釈への扉を開きます。  
変化し続ける世界において、私たちはヴィンテージの再発見の機会に出会い、  
幾つもの世代を超えて受け継がれ、磨き上げられてきた知恵が現在と融合し、  
新たな美を形作るのです。  
さあ、テクノロジーだけでは到達できない、真の美しさを、共に創造しましょう。





## SHADOWED PETALS

柔らかなレイヤーの強さ

ーベージュ、ピンク、ブラックの調和

ハチ上にたっぷり入れたレイヤーからのくびれが柔らかなミディアムレングス。

ハイトーンをベースにしつつ、根元は薄いピンクでさらに明るく演出し、毛先はブラックで引き締めるという、従来の常識を覆すコントラストが新しい。カットラインが生きるカラーの配置はセンス次第で、合わせるファッションの幅もカジュアルからエレガントまで無限大に。





## GINGER SPICE

燃えるようなオレンジの髪を  
レイヤーカットで最大限に引き立てる

褪色後に残りやすいオレンジの野暮ったさを逆手に取った、オーセンティックでワイルドなミディアムレンジヘア。地毛が本来持っているオレンジの個性はそのまま生かし、ベースで赤味を足して、ポイントにはさらに明るいオレンジをランダムにプラス。ハイレイヤーカットで引き出したくせ毛風のデザインが、フレッシュさと洗練された雰囲気醸し出す。



## SMOKEY HAZE

洗練されたショートヘアにエッジの効いたカットとカラーで上品さを演出

骨格に似合うバランスでディスコネクションカットをコントロール。短く切り込んでマニッシュな表情のトップに対し、長めに残した襟足ともみあげがフェミニンな余韻を放つ。カラーはグレーベースでグラデーションを仕込み、ポイントにブルーとモーブのローライトをプラス。寒色寄りのスモーキーカラーがヴィンテージ感をフレッシュに躍動させる。





## GENTLE AURORA

プリズムカラー - ページュの透明感を引き立て、  
明るさを最大限に

ややミュートしたヴィンテージ感のあるカラーパレットで  
デザインしたワンレングスのダウンスタイル。肌色と溶  
け合うように明るいページュをベースにイエローを加え、  
さらに朱赤と紫をポイントにプラス。光に呼応して現れる  
虹のようなスペクトルがほのかな甘さを漂わせ、秘めた  
個性をさりげなく煌めかせる。





## NEUTRAL COLOR CLASH

コンパクトなボブカットが、タイトなフォルムと大胆なカラーで  
コントラストを際立たせる

やや派手に見えるくらいのカラーリングが今シーズンはちょうどいい。  
ウォームベージュをベースに、ブラウンをコントロールしながら明るめに  
デザインしたカラーブロッキング。ディスコネクションカットで顔まわりに  
レイヤーを入れて収まりのいいタイトなボブスタイルが、今シーズンの  
大胆でポリュミーなトレンドファッションともグッドバランス。





# MAPLE IN MARBLE

中心部の不規則なカットと色合い  
—ヴィンテージでありながらモダンな  
季節感あふれるテクスチャー

ボサッとした質感の寝グセ風ヘア。ローライトで  
散りばめた渋みのある赤がチョップカットによる  
クレイな質感と相まって、ヴィンテージムードを  
熟成する。ヘアデザインのランダムさを上品な  
印象に昇華させるポイントは、明るいベース。  
艶やかなベルベットジャケットなど、あえて逆質  
感のファッションと合わせてコントラストを楽し  
みたい。





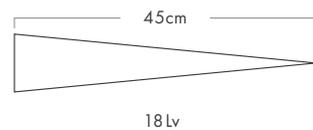
# SHADOWED PETALS

## STYLE

ハチ上にたっぷり入れたレイヤーからのくびれが柔らかなミディアムレングス。ハイトーンを基調にしつつ、根元は薄いピンクでさらに明るく開放し、毛先はブラックで引き締める逆転発想のコントラストが新しい。カットラインが生きるカラーの配置センス次第で、合わせるファッションの幅もカジュアルからエレガントまで無限大に。



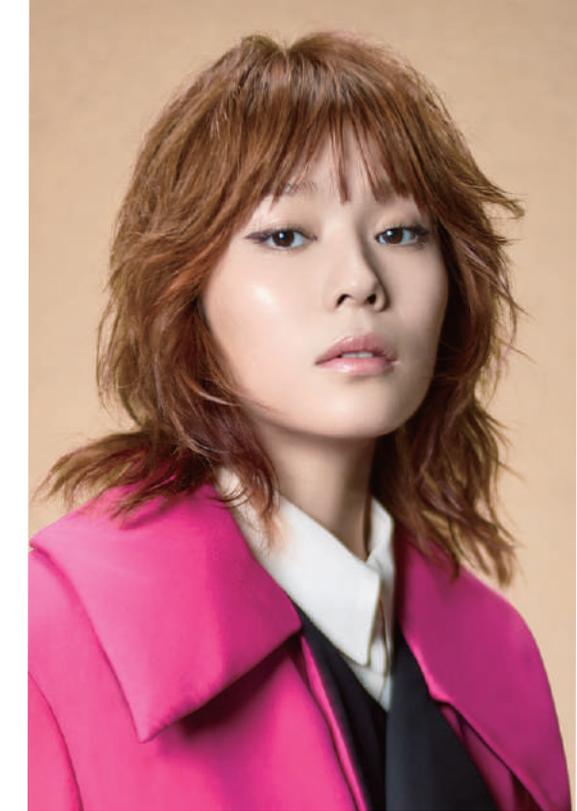
Beforeの状態



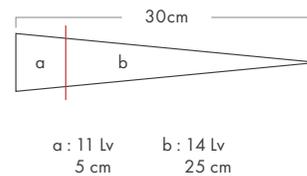
# GINGER SPICE

## STYLE

退色後に残りやすいオレンジの野暮ったさを逆手に取った、オーセンティックでワイルドなミディアムヘア。地毛が本来持っているオレンジの個性はそのまま生かし、ベースで赤味を足して、ポイントにはさらにオレンジをランダムに補填。ハイレイヤーカットで引き出したくせ毛風のデザインが、経年印象を与えがちな中間色の鮮度を甦らせる。



Beforeの状態

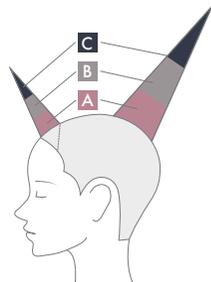


## カラー使用プロダクト



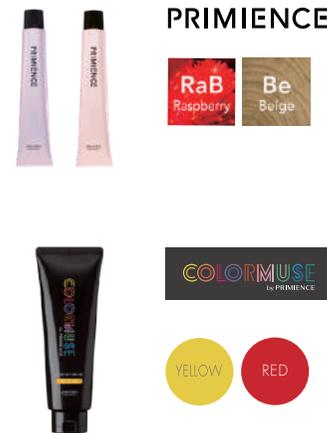
## カラーレシピ&プロセス

- A** BaP 13 20  
BaP 9 4  
PA 13 1  
AC4.5%
- B** CL0 5  
WBe 13 5  
G 13 2  
BaP 13 1  
AC4.5%
- C** C/BK 3%



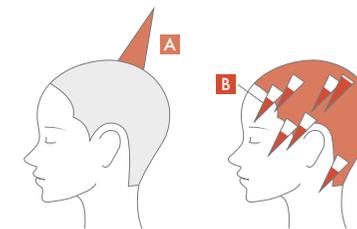
1. 根元に **A**、中間に **B**、毛先に **C** を塗布し、20分放置後シャンプー。

## カラー使用プロダクト



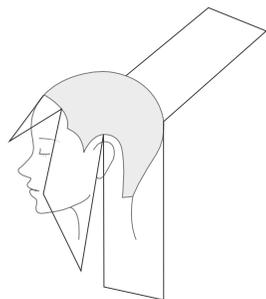
## カラーレシピ&プロセス

- A** RaB 11 1  
Be 11 1  
6%
- B** YELLOW 10  
RED 1



1. 根元から **A** を塗布し、連続で毛先まで塗布し、20分放置後シャンプー。
2. ランダムにパネルを分け取り、トップ付近のパネルは根元近くから、それ以外のパネルは中間～毛先にかけて **B** を塗布し、20分放置後シャンプー。

## カット展開図



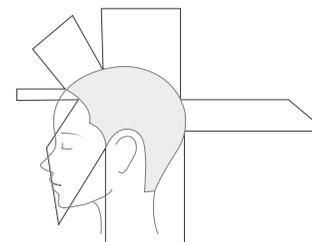
## スタイリングプロセス&使用プロダクト

**SUBLIMIC** (1) LUMINOFORCE BRILLIANCE OIL  
**STAGE WORKS** (2) SUPER HARD SPRAY

1. (1) を全体になじませてドライ。
2. 19mmのカールアイロンで毛先にカールをつける。
3. (1) を再度中間・毛先に塗布し、艶を出しながらスタイリング。最後に(2)を全体に振りかけ、形をキープする。



## カット展開図



## スタイリングプロセス&使用プロダクト

**SUBLIMIC** (1) LUMINOFORCE BRILLIANCE OIL  
**STAGE WORKS** (2) TRUE EFFECTOR NEUTRAL

1. (1) を毛先中心になじませてドライ。
2. 26mmのカールアイロンで中間～毛先にランダムに動きをつける。
3. (2) を全体に揉みこみ、動きと束感を強調しながらスタイリング。





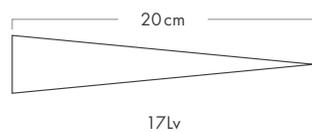
## SMOKEY HAZE

### STYLE

ディスコネクションカットで骨格に似合うバランスをコントロール。短く切り込んでマニッシュな表情のトップに対し、長めに残した襟足ともみあげがフェミニンな余韻を放つ。カラーはグレーベースでグラデーションを仕込み、ポイントにブルーのローライトをプラス。寒色寄りのスモーキーカラーがヴィンテージ感をフレッシュに躍動させる。



Beforeの状態



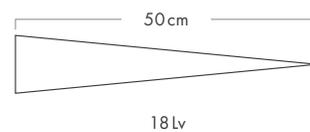
## GENTLE AURORA

### STYLE

ややミュートしたヴィンテージ感のあるカラーパレットでデザインしたワンレングスのダウンスタイル。肌色と溶け合うように明るいページュをベースにイエローを加え、さらに朱赤と紫をポイントにプラス。光に呼応して現れる虹のようなスペクトルがほのかな甘さを漂わせ、秘めた個性をさりげなく煌めかせる。



Beforeの状態

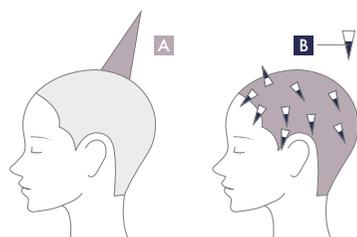


### カラー使用プロダクト



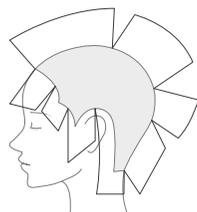
### カラーレシピ&プロセス

<b>A</b> CL/0	20
MP/9	4
CG/9	1
3%	
<b>B</b> IB/9	
3%	



1. **A**を全体に塗布し、25分放置後シャンプー。
2. ポイントでチップを取り、中間～毛先にかけて**B**を塗布し、20分放置後シャンプー。

### カット展開図



### スタイリングプロセス&使用プロダクト

**SUBLIMIC** (1) LUMINOFORCE BRILLIANCE OIL    **STAGE WORKS** (2) NUANCE CURL CREAM

1. (1)を全体になじませてドライ。
2. 19mmのカールアイロンで顔周りにニュアンスをつけて、(1)と(2)をそれぞれ全体に揉みこみ、毛流れを作りながらスタイリング。



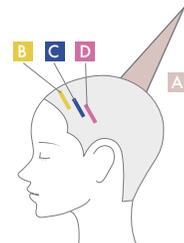
SHISEIDO PROFESSIONAL

### カラー使用プロダクト



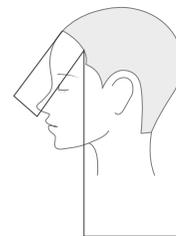
### カラーレシピ&プロセス

<b>A</b> WBe 13	1
CL 0	1
3%	
<b>B</b> YELLOW	
<b>C</b> CLEAR	5
BLUE	1
<b>D</b> CLEAR	5
PINK	1



1. スライシングで**B C D**それぞれを塗布。
2. 全体の根元から毛先まで**A**を塗布し、25分放置後シャンプー。

### カット展開図



### スタイリングプロセス&使用プロダクト

**SUBLIMIC** (1) LUMINOFORCE BRILLIANCE OIL    **STAGE WORKS** (2) TRUE EFFECTOR SHINE

1. (1)を全体になじませてドライ。
2. (2)を頭頂部付近から塗布し、ボリュームダウンとツヤを出すようにタイトにスタイリングする。



SHISEIDO PROFESSIONAL



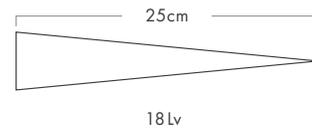
# NEUTRAL COLOR CLASH

## STYLE

やや派手めに見えるくらいのカラーリングが今シーズンはちょうどいい塩梅。ウォームベージュをベースに、ブラウンをコントロールしながら明るめにデザインしたカラーブロックング。ディスコネクションカットで顔まわりにレイヤーを入れて取りのいいタイトめのボブスタイルが、ボリュームミートrendファッションともグッドバランス。



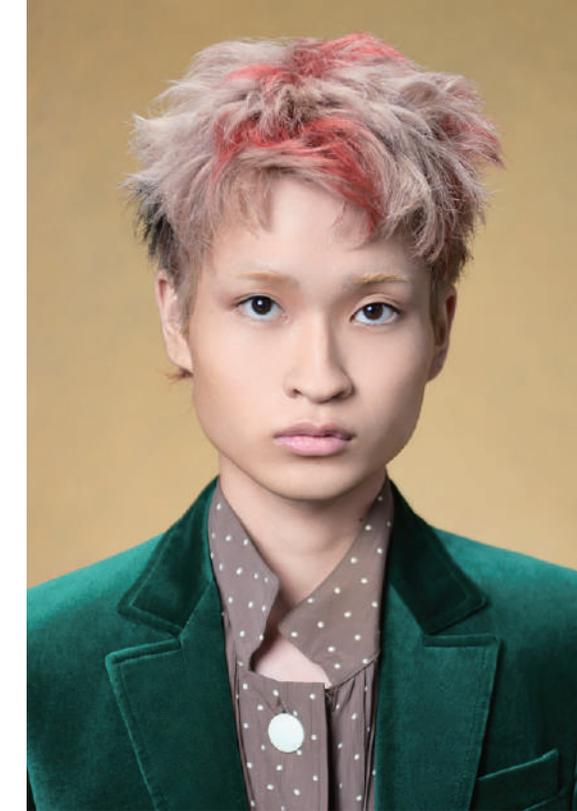
Beforeの状態



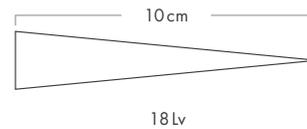
# MAPLE IN MARBLE

## STYLE

ボサッとした質感の寝グセ風ヘア。ローライトで散りばめた淡みのある赤が、チョップカットによるクレイな質感と相まって、ヴィンテージムードを熟成する。ヘアデザインのランダムさを上品な印象に昇華させるポイントは、明るいベース。艶やかなベルベットジャケットなど、あえて逆質感のファッションと合わせてコントラストを楽しみたい。



Beforeの状態

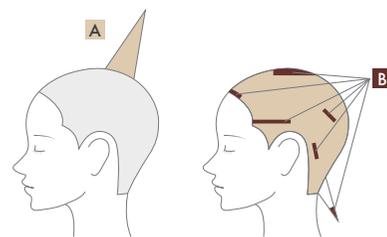


## カラー使用プロダクト



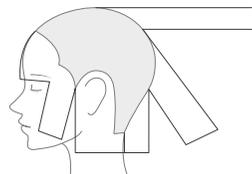
## カラーレシピ&プロセス

<b>A</b>	CB/13	2
	EBe/11	1
	CL/0	3
	AC4.5%	
<b>B</b>	WBe 7	10
	PA 9	1
	3%	



1. 全体の根元から毛先にかけて **A** を塗布し、20分放置後シャンプー。
2. セクションを分け取り **B** を根元から毛先まで塗布し、20分放置後シャンプー。

## カット展開図



## スタイリングプロセス&使用プロダクト

### SUBLIMIC

(1) AQUA INTENSIVE VELVET OIL

1. (1) を全体になじませてドライ。
2. 再度 (1) を全体になじませ、滑らかなシェーブを創りながらスタイリング。



(1)

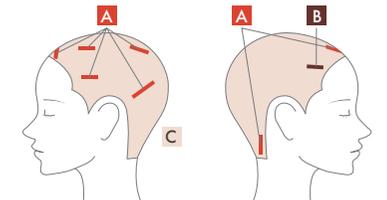


## カラー使用プロダクト



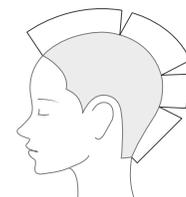
## カラーレシピ&プロセス

<b>A</b>	RaB 9	3
	C/Y	1
	3%	
<b>B</b>	WBe 7	3
	3%	
<b>C</b>	N 13	10
	WBe 13	10
	BaP 11	1
	3%	



1. ポイントで **A** と **B** をホイルワーク塗布。
2. 全体の根元から毛先にかけて **C** を塗布し、10分放置後シャンプー。

## カット展開図



## スタイリングプロセス&使用プロダクト

### SUBLIMIC

(1) AIRY FLOW SHEER OIL

### STAGE WORKS

(2) TRUE EFFECTOR NEUTRAL

1. (1) を全体になじませてドライ。
2. (2) を全体に揉みこみ、束感にメリハリが出るようにスタイリング。



(1)



(2)



Autumn/Winter 2025

# WOMEN'S FASHION TRENDS from the Runway

ウィメンズスタイルは、アーカイブの要素を自由にリミックスしながら進化を遂げている。長い「静かなラグジュアリー」(Quiet Luxury)の時代は終焉を迎えた。

先の春夏シーズンに花開いた装飾主義は今シーズン大きな実を結び、自己表現の新たな可能性を大胆に拓く。

2025年秋冬は、1950年代の華やかなファッションのエッセンスと1980年代の力強いスタイルが融合した豊かなシーズンとなっている。



CHLOE

## BEYOND ARMOR

昨年話題を呼んだ「mob wife aesthetic」は、現在ファッションシーンで確固たる地位を築いている。体を完全に包み込むボリューム感に溢れるファーコートが、今冬街中を埋め尽くすことが予想されている。レザーは、タフな耐久性と美しさを兼ね備え、秋から春先まで着用可能で、ファーと並んで注目される素材となっている。



SAINT LAURENT

## POWERING LEGACY

クチュール風のパワフルなショルダーがシャープなシルエットを演出。単なるオーバーサイズデザインとは一線を画す。スーツとアウターウェアから始まり、今シーズンはセーターとブラウスもショルダーを主役にしたデザインが注目される。フリルカラーなどのフェミニンなディテールでショルダーエリアを強調するアプローチも特徴的。



SACAI

## ECHO OF SEQUINS

シークインとビジュアの装飾が、今シーズンのランウェイを輝かせている。ブラック、ダークブラウン、バーガンディのシックなモノトーンスタイルがトレンドを牽引する中、手の込んだ刺繍のひねりやミックス素材が視覚的な奥行きを加えて興味深い。



DRIES VAN NOTEN

## ANTIQUE AMBIENCE

古い邸宅のカーテンやカーペットを彷彿とさせるアンティークのテキスタイルが注目されている。エキゾチックなダマスク模様、チェック模様、ヘリンボーン模様をはじめとする伝統的なイギリス模様も人気。素材、質感、色使いの面でクラシックなスタイルを再解釈したデザインは、引き続き進化を続けている。



BURBERRY

## WATERFALL FRINGE

2025年秋冬コレクションのフリルは、異なるドラマティックな輝きを放つ。丈の長い毛皮のようなボリュームと柔らかさが特徴で、織り目加工のロングドレスの全体を覆う。強さと優しさの共存を表現し、まさに今シーズンのムードを体現している。



MCQUEEN

## BLOSSOMING LACE

夢のようなロマンティックなトレンドとして、レースは秋冬シーズンにおいてさらに装飾的な要素として注目される。首元や肩周りのディテールが特に目を引くデザインが期待される。軽やかで繊細なレースをアクセントに、ドレスアップの官能性と魅力を十分に楽しんで。

Autumn/Winter 2025

# MEN'S FASHION TRENDS from the Runway

多様なスタイルをカジュアルな洗練さと自然に融合させる。

メンズファッションは大きな変革の時期を迎えており、ディオール、シャネル、グッチ、トム・フォード、メゾン・マルジェラ、さらには日本のブランドKOLORなど、主要ブランドでのデザイナー交代が相次いで報じられている。ファッションの未来が不透明なこの時代、ファーやレザーなどの重厚な素材が、今秋冬のスタイルに力強さを添える。



PRADA

## ZEN SAVAGE

このルックの焦点となるのは、視覚的にも触覚的にも刺激的な大胆なファーのアイテム。プラダはその代表例で、ミニマムなコートに本物のシアリングを襟周りに重ねたり、ジャケットのインナーライニングを覗かせたりすることで、目を引く大胆なスタイリングを実現している。



GIORGIO ARMANI

## VELVET RELOADED

スーツが再び注目を浴びる中、個性をどう表現するか？この質問への一つの答えが、オールベルベットのツーピース・トップとボトムセット。ポイントは、大胆な色と光沢と、ミニマムな単色スタイリングのバランスを取ること。



DIOR

## LEATHER CRAZE

ゆったりとしたシルエットのワイドレザージャケットが引き続き人気を博している。キム・ジョーンズがディオールで手掛けた最新コレクションのような、柔らかく高品質なレザーを使用したアウターウェアが注目を集めている。一方、よりコンパクトなライダージャケットも今シーズン再注目される見込み。



LOUIS VUITTON

## TIES IN STYLE

白シャツとネクタイのフォーマルな組み合わせが、再び新鮮な印象に生まれ変わった。今シーズン、スタイリングにおけるネクタイの取り入れ方が、デザインそのものよりも最終的な印象を左右する。ルイ・ヴィトンの英国風ベストを合わせたブルックスタイルは、その好例。



KENZO

## TWIST THE TIMELESS

デニム、ワークウェア、その他の定番アイテムを派手なブルゾンやボンバージャケットとカジュアルに組み合わせた計算されたミスマッチは、確実に注目を集める。スタイル間の境界線がますます曖昧になる中、挑発的な組み合わせは日ごとに多様化している。



DOLCE & GABBANA

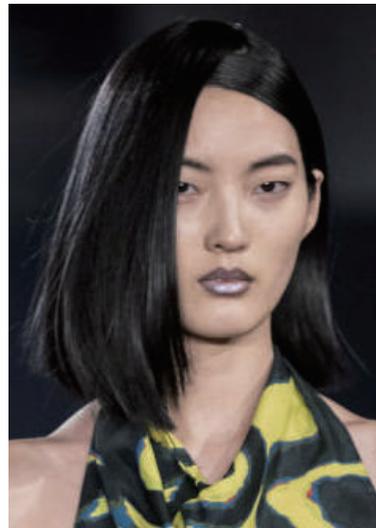
## 80s ANIMAL

アニマルプリントは、ファーと並んで今シーズン注目を集めそうだ。ワードローブにワイルドな要素を加えて、スタイルをアップデートしよう。クラシックなヒョウ柄は、時代を超えた人気を誇る。カジュアルウェアやジャケットに大胆でエレガントなデザインで取り入れたり、スカーフやアクセサリーで繊細にスタイリングしたりと、様々な方法で楽しんでみては？

# THE BEST HAIR from the Runway

ワンパターンなスタイルにはさようなら —華やかなスタイルがボリュームを一段とアップ。

ワンレングスカット、カール、ボヘミアンウェーブから、軽やかでボリューム感のあるアップスタイルまで。ヘアファッションのトレンドは控えめからマキシマムへと移行し、今シーズンのスタイルはボリュームと複雑なツイストが特徴的。



CHRISTOPHER JOHN ROGERS

## OFF-CENTERED BOBS

ボブは昨年春夏から人気が続いており、ここではウェイトを掛けたワンレングスカットにサイドパートを組み込んだ非対称的なスタイルに仕上げられている。このスタイルには、自然なツヤがあるほとんど処理されていない髪と、丁寧なブロードライ、そして何よりも正確なカットテクニックが求められる。



ANNA SUI

## RETRO ROLLS

1950年代のピンアップガールを彷彿とさせるレトロでボリューム感のあるヘアデザインが再登場。ロールした前髪とふわふわとした丸みを帯びたアップスタイルが、洗練されたエレガンスに情感豊かな魅力を添える。



CHLOÉ

## BOHEMIAN WAVES

ボヘミアン・シックは、過去数シーズンにわたってファッションの復活を遂げている。過去の時代を彷彿とさせるボヘミアン・ウェーブは、美しいボヘミアンスタイルにぴったりの定番スタイル。但し、色あせた無造作な印象にならないよう注意が必要。髪にオイルを塗布することで、パワフルなウェーブを引き立てる輝きをプラスできる。



ISSEY MIYAKE

## LACQUERED ROOTS

引き締まったスリムなスタイルは、エレガントなネックラインを強調するルックに完璧なまでにマッチ。トップに輝きを加え、毛先を控えめなツヤに上げること、遊び心のあるタッチを生み出し、テクスチャーのコントラストを楽しめる。厚手のヘアバンドやウィッグネットを使用しても、スタイルを固定しやすくなる。



CHRISTIAN COWAN

## GLAMOUR'S HIGH

華やかなアップスタイルは、「クアイエットラゲジュアリー」時代の終焉を宣言するかのよう、華々しく登場した。マキシマリストメイクでこのスタイルを最大限に活かして、トレンドに飛び込んでみては？1960年代のアイコン、ブリジットバルドーは、このセンセーショナルなスタイル再現の絶好のスタートだ。



COACH

## LONG HAIR MAYBE

ロングヘアをアウターウェアに押し込んだり、低めに結んで襟元やハイネックに押し込んだりすると、フレッシュでラフな印象に。手の込んだスタイリングなしに、ショートヘアのような印象を瞬時に演出するバランスが生まれる。

Autumn/Winter 2025

# THE BEST MAKEUP from the Runway

目元、唇、など、マキシマムなメイクが復活。

アイメイクは芸術の域に達し、80年代を彷彿とさせる大胆な色使いと、深みと立体感を演出する巧みなアイシャドーの使い方が特徴となっている。

リップカラーもより深く、よりグロス感のある仕上がりに。

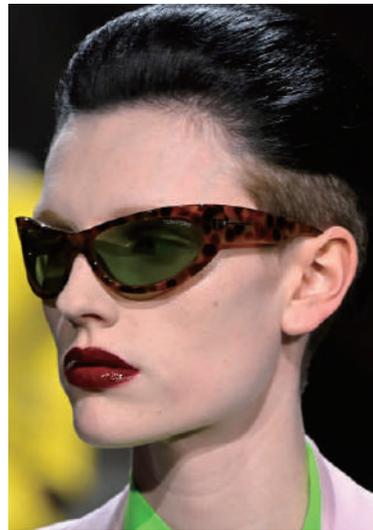
2025年秋冬では、新たな次元の最先端メイクアップが、人々の生活、ファッションなどに、個性を吹き込んでいる。



CHANEL

## STATEMENT WINGS

スモーキーアイは秋冬のファッションの定番だが、今季はそのインパクトをさらに高める新しいテクニックが注目されている。芸術的な感性豊かなこのようなアイメイクが今、注目を集めている。シャネルは、目尻に羽のような繊細なスモーキー効果を加えることで、このトレンドを先導している。



TOM FORD

## URUSHI SHINE

ステートメントリップが再び注目を集めている。最高級の漆のような輝きを放つ光沢のある深紅と、ビニールのような光沢を帯びた完璧なダークブラウンが、今一番のトレンド。春夏のファッションでホットな人気のカラー「モカ」も、今シーズンはリップにも登場している。



ELIE SAAB

## GRAPHIC CAT-EYE

シャープなアイライナーで、エレガントなネックラインを強調するボリューム感のあるファッショントレンドに視線をくぎ付け。このバランスの取れたルックは、2025年秋冬シーズンにぴったりの素晴らしい選択。漆黒のアイライナーを使って、クリーンでシームレスなキャットアイを演出してみてもいい。



STELLA MCCARTNEY

## UPWARD GROOM

昔の女優たちの伸び伸びとした美しさを彷彿とさせる、力強く大胆なワンポイントメイクが再注目されている。目と唇に加え、眉毛は個人表現の重要な要素として機能している。顔の骨格を意識した眉毛の整え方は、眉毛を上へ引き上げることで、決意を表現している。



GIORGIO ARMANI

## ALL ABOUT SHADOW

2025年秋冬シーズンでは、1980年代を彷彿とさせるカラフルさ、パレットのような鮮やかな色合い、大胆なまつ毛など、華やかなアイメイクが注目。一方で、トープ、グレー、ブラウンなどのニュートラルカラーも依然として価値ある選択肢。新しいグラデーションを試して、雰囲気に溢れニュアンス豊かなスタイルの立体感を強調。



BALMAIN

## VELVET SKIN

今シーズン、輝く肌は止まることを知らない。メイク前の丁寧なスキンケアがバックステージの常識となり、完璧な素肌はこのスタイルの必須条件。最新のベースメイクアップを使用して、ベルベットのよう滑らかで高品質な肌を実現しよう。



資生堂プロフェッショナル公式ホームページ

<https://www.shiseido-professional.com/ja>



資生堂プロフェッショナル公式Instagram  
[https://www.instagram.com/shiseidopro\\_jpn/](https://www.instagram.com/shiseidopro_jpn/)

▶▶▶ Click



資生堂プロフェッショナル公式LINE  
<https://page.line.me/371zpcvy>

▶▶▶ Click



資生堂プロフェッショナル公式YouTube  
<https://www.youtube.com/channel/UCYWT4pfzZ5cPimGt3U22pMw>

▶▶▶ Click



資生堂プロフェッショナルEラーニング  
[https://elearning.shiseido-professional.com/ja\\_jp/](https://elearning.shiseido-professional.com/ja_jp/)

▶▶▶ Click